

清田中央地区 清田西町町内会 高齢者生活支援



若い人が地域に登場すると
自然と
地域住民に笑顔があふれるものですね。

※高齢者生活支援とは、高齢になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるための仕組みづくりを行う事です。

令和3年6月から始まった高齢者生活支援の移動販売。買い物支援だけでなく、町内会役員による見守り活動や荷物運び等も行われ、少しずつ地域住民に定着してきました。

週2回（月・木）会館駐車場で行われており、比較的月曜日の方が利用者は多い状況ではありますが、7月までの延べ人数（把握分のみ）129名、平均11名の利用があります。

《訪問時 ほっこりニュース!》



【その1】

「母さんを迎えに・・・」
母さんは手が悪くて重い荷物が
持てないんだ。
買い物荷物が重たいと思い迎え
に来た。

【その2】

「高い所の商品が
取れなくて・・・」
実習生：『どの商品を取りますか？』
『食パンなの。ありがとう♡』



始まりは「きっかけ」から・・・



役員さんが、毎度「荷物運ぶよ」と、声掛けをしていていつも自力で帰っていた人が、なんと！！

「実習生の勉強の為ならと・・・」荷物運びをお願いしてくれました。会話しながらの道のりがとても楽しかったようで、これをきっかけに、役員さんにも依頼してくれるようになりました。

後日、「実習生と一緒に歩きながらの会話がとても楽しかった。とても、良い時間だった」とお話し下さいました。

それを聞いていた会長曰く。

「若者ではないけど、荷物持つよ」と笑いながら、荷物を運んでくれました。



【実習生】



今回は実習生として初めて西町町内会の高齢者生活支援に同行いたしました！

初めは緊張していたのですが、町内会役員の方が優しく声をかけてくれたり、利用者の方が笑顔で声をかけてくれたこともあって気づいたときには僕にも自然と笑顔がこぼれていました！

ボランティアに参加し、利用者の方にカゴを渡したり、高いものを取ったり、荷物運びと一緒に帰った時に「ありがとうね！」と言われ、ものすごく嬉しかったです！

今回の参加で地域の支え合いのすばらしさを実感しました。

西町は商業施設も少なく、坂道も多いため、高齢者の方々にとっては買い物も一苦労です。買い物支援がこういった地域のニーズから生まれていることを知りました。また買い物だけではなく、地域の見守り活動や交流の場といった、支えあいの活動にもなっているので、ボランティアを通じて地域の繋がりの大切さに気付くことができる貴重な機会になりました。



役員さんからお手紙を預かりました
山本実習生へ

孫のような感じです。
地域の方と打ち解けるのが早く、感心しました。
今後とも、実践を通して、福祉マンとして、頑張ってください。



「こんにちは！」と実習生が地域へ入った途端、地域の方から「若い人が来ると明るくなるわね」等の声が聞こえていました。今回、実習生が荷物運びボランティア活動を行いました。好評で「また来るの？」等の質問もありました。若い人が来ると地域は活性化するものだと感じました。

